

平成27年度施策評価シート

基本施策	あらたな文化の創造と振興を図る		
総合計画での位置付け	政策	5	「ゆたかさ」のあるまちをめざして
	分野	4	文化
主要な計画	高山市文化芸術振興指針		
基本施策を実施する背景や課題・目的	<ul style="list-style-type: none"> ・文化を享受しあらたな文化を創造する主体は市民であるという基本に立ち、市民がさまざまな文化にふれたり、主体的な文化・芸術活動が行える環境づくりなどがもとめられている。 ・本施策は、市民がさまざまな文化にふれたり、主体的な文化・芸術活動が行える環境をつくることを目的としている。 		

1 概要

施策	施策の内容	これまでの取り組み	担当部局
1 文化的環境の醸成	ア 市民が主体となった文化の創造や振興	<ul style="list-style-type: none"> ・文化祭や芸能祭など市民が主体となった文化芸術活動が盛んに行われるようにした。 ・市民の自主的な文化芸術活動を施設利用や補助金等により支援した。 ・YANSA21フェスティバルが市民に息づいたものとなるよう、実行委員会に対して支援した。 	市民活動
	イ 文化意識の高揚	<ul style="list-style-type: none"> ・3つの美術展覧会を開催した。 ・市民が優れた文化芸術を鑑賞できる機会を提供した。 ・文化芸術振興を象徴するイベントとして、市民一人ひとりが主役の飛騨高山文化芸術祭をスタートした。 	市民活動
	ウ 文化活動施設の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・市民文化会館のホール客席や非常用放送設備の改修を行うなど、必要な施設整備を行うとともに適正な管理運営を行った。 	市民活動
	エ 文化活動を担う人材の育成・強化	<ul style="list-style-type: none"> ・文化ボランティアの活用や優れた業績をあげた市民の激励・奨励・顕彰を行った。 	市民活動

2 指標の推移

指標名	単位	関連施策	好ましい方向	H21	H22	H23	H24	H25	H26	目標
文化振興事業補助団体	団体	1-ア	↑	7	9	12	14	10	18	7
市美術展覧会の出品点数	点	1-イ	→	319	306	298	333	333	351	300
市美術展覧会の入場者数	人	1-イ	→	2,049	2,063	2,132	2,019	2,121	2,202	2,000
市民文化芸術鑑賞事業の実施回数	回	1-イ	↑	4	4	10	11	11	11	10
市民文化芸術鑑賞事業への参加者数	人	1-イ	↑	3,838	3,052	6,369	5,837	7,665	7,494	8,000
文化伝承館利用者数	人	1-ウ	→	6,200	5,521	4,393	5,308	2,515	3,023	3,500

3 市民アンケートの結果

		現在の「満足度」		今後の「重要度」		市民満足度を高めるために改善等を行う優先度	
H21	点数	62.8	(平均) (54.6)	64.7	(平均) (79.7)	Ⅳ	低い
	順位	42施策中 6 番目		42施策中 41 番目			
H25	点数	62.2	(平均) (56.9)	71.1	(平均) (81.8)	Ⅳ	低い
	順位	43施策中 7 番目		43施策中 41 番目			
H27 (今回)	点数	61.0	(平均) (56.0)	69.2	(平均) (81.2)	Ⅳ	低い
	順位	43施策中 10 番目		43施策中 43 番目			

4 一次評価(担当部局による評価)

担当部局		市民活動部	
施策	七次総合計画における検証(成果や課題)		今後の方向性
1	文化的環境の醸	<ul style="list-style-type: none"> 定期点検による施設の安全管理や計画的な修繕・改修を行うことで、施設の安全性や利便性が向上した。 市民が主役の飛騨高山文化芸術祭を開催することで市民の文化芸術の創造・振興の促進を図った。 文化芸術活動団体への活動支援を行うことで、自主的な文化芸術活動の促進を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> 文化活動の拠点となる施設の安全管理の徹底や計画的な修繕・改修を行う。

5 二次評価(企画課、総務課、財政課評価)

課題	今後の方向性
<p>主な課題としては、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化芸術振興の必要性等が市民に十分理解されていない。 ・文化会館など老朽化が進行している施設がある。 <p>ということが挙げられる。</p>	<p>市民アンケートの結果、施策に対する現在の満足度が高く、今後の重要度が低くなっているが、文化芸術は心の豊かさを実感できる暮らしを実現していくうえで大きな役割を果たすものであるため、教育振興基本計画をはじめとした諸計画に基づき、文化芸術が薫るまちづくりをめざしていく必要がある。</p> <p>特に、文化芸術の必要性・重要性についての市民意識の醸成を図ったうえで、市民一人ひとりが主体的に活動できるよう、そして、みんなで文化芸術の振興に取り組めるよう、市民・文化芸術関係団体・行政等が役割を分担し、連携しながら、文化芸術施策を幅広く展開していく必要がある。</p> <p>また、各施設の老朽化の度合いや利用頻度を踏まえ、統廃合も含めた改修計画を策定し、効率的に整備を進めていく必要がある。</p>

6 外部有識者の評価・意見

七次総合計画における検証に対する評価・意見
<ul style="list-style-type: none"> ・文化関連予算を全体予算の1%にした点は評価に値する。それに関連して文化団体への活動支援や飛騨高山文化芸術祭を実施した姿勢も評価に値する。 ・今後の方向性として、「文化芸術を生活の一部として大切に市民」が少しでも増える手立てを講ずることが重要である。 <p>例えば、第1回の飛騨高山文化芸術祭「こだま〜れ」は、担当課や実行委員会の献身的な活動で大いに盛り上がったが、各種イベントを設定しそれに市民が参加する傾向があった。今後の「こだま〜れ」では、一方では子ども達に一流の文化芸術に触れる機会を提供し感性豊かな大人になってもらうことを目指し、他方では市民が普段から行っている文化活動のレベルアップを図るための一流講師派遣事業を企画するなどの手立てをしていただきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他都市から見ても文化芸術的感性が豊かな市民が多く暮らす町・飛騨高山を目指し、イベントもその目的を達成するために企画することが必要である。 ・将来的には、公的資金に多くを頼ることなく、文化芸術にはそれに見合う対価を払っていく市民が増えてくれればと考える。

【参考】基本施策に関連する予算事業の分析・評価(平成27年度事業評価における担当課評価)

関連施策	事業コード	事業名	評価	事業費決算額(千円)	
			点数	H25年度	H26年度
1-ア	94615	文化振興支援事業	80	4,924	3,987
1-イ	94605	美術展覧会等開催事業	70	2,391	6,406
1-イ	94610	文化芸術鑑賞事業費	70	32,700	33,422
1-イ	94630	飛騨高山文化芸術祭開催事業費	-	59,951	-
1-ウ	94620	文化伝承館管理事業費	80	3,650	3,751
1-エ	94600	文化振興事務費	70	126	2,245

平均点	H25年度	H26年度
74	103,742	49,811